

漆芸交流展

台灣 × 香川

Taiwan
×
Kagawa



陳火慶／彩色バナナ文丸盆(1990)
台中市政府文化局フルドン文化センター
陳火慶／單彩香蕉紋圓盤(1990)
台中市政府文化局葫蘆墩文化中心

会期/2018年11月10日[土]—11月25日[日]

会場/香川県文化会館(香川県漆芸研究所) 観覧料無料

高松市番町一丁目10-39 TEL.087-831-1814

開館時間/9:00~17:00

休館日/無休

主催/香川県、高松市、國立台灣工藝研究發展センター、台北駐日經濟文化代表處 台灣文化センター

後援/台灣文化部、台北駐大阪經濟文化辦事處、東京藝術大學、香川日華親善協會、

公益社団法人香川県観光協會

臺灣・香川 漆藝交流展

展期/2018年11月10日[六]—11月25日[日]

會場/香川縣文化中心(香川縣漆藝研究所)

高松市番町一丁目10-39 TEL.087-831-1814

免費入場

開館時間/9:00~17:00

休館日/無休

主辦/香川縣、高松市、國立臺灣工藝研究發展中心、臺北駐日經濟文化代表處臺灣文化中心

後援/臺灣文化部、臺北駐大阪經濟文化辦事處、東京藝術大學、香川日華親善協會、

公益社団法人香川縣觀光協會

カット:山中公下園より



磯井如真／茄子 香盒
高松市美術館



磯井如真／木彫 佛手柑香盒
高松市美術館

beyond
2020



台湾・香川 Taiwan Kagawa 漆芸交流展

臺灣・香川漆藝交流展

香川県高松市出身の山中公は、「台湾漆芸の生みの親」と言われます。香川県工芸学校から東京美術学校漆工科を卒業した山中は、大正5(1916)年、義父が台中市で料亭「富貴亭」を営んでいた関係で台湾に渡ります。山中は、そこで台湾の工芸品に需要があることに気づき、得意とする漆芸品の製作を思い立ちます。故郷香川の讃岐彫にヒントを得て、台湾の果物や風物をモチーフとした「蓬莱塗」を創始し、同年「山中工芸美術漆器製作所」を設立して漆芸品の製作に乗り出します。そして「蓬莱塗」は台湾で人気を博し、台湾漆芸を代表するものとなり、台湾の工芸発展に大きく寄与することになります。

また「私立台中工芸専修学校」を設立した山中公の教育への情熱は、台湾において多くの有名な漆芸家を輩出することにつながります。山中の薫陶を受けた陳火慶は台湾の重要民族工芸家となり、頼高山は台湾民族工芸終身名誉賞を受賞しました。また王清霜は台湾工芸の「人間国宝」第1号となり、台湾の漆芸の発展に大いに貢献しました。

本展は、山中公が発展の礎を築いた台湾漆芸の現在とその原点ともいえる香川漆芸を概観する展覧会です。

出生在香川縣高松市の山中公 (Yamanaka Tadasu) 被稱為「台灣漆藝之母」。香川縣工藝學校、東京美術學校漆工科畢業。大正5年(1916年)、因為岳父在台中市經營「富貴亭」餐廳來到了台灣。山中公意識到台灣對工藝的需求，想將自己擅長的漆藝品在台灣製作。因此以故鄉一讚岐雕 (Sanukibori) 為啟發，將台灣的水果和風景等圖案，設計了「蓬萊塗」，並成立「山中工藝美術漆器製作所」開始漆藝品的製作。「蓬萊塗」在台灣相當受歡迎，成為了台灣漆藝的代表，也對日後台灣工藝發展留下深遠的影響。

除此之外「私立台中工藝專修學校」的成立，更能看出山中公對於教育的熱忱。在台期間培育許多漆藝家。其中受到山中公薰陶的有台灣重要的民族工藝家陳火慶；被授予台灣民族工藝終身榮譽獎的頼高山；以及台灣工藝第一位「人間國寶」王清霜，他們都為台灣漆藝的發展留下了重要的貢獻。

本展以山中公在台奠定基礎後，台灣漆藝成功發展的起源，以及當前香川漆藝概觀的展覽。



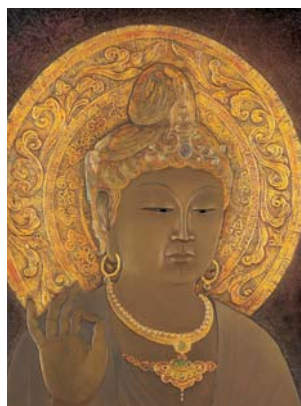
山中公(1886~1949)



山中公「蓬萊塗硯箱」(1925~1945)
國立台灣工藝研究發展センター蔵
山中公「蓬萊塗硯箱」(1925~1945)
國立台灣工藝研究發展中心 蔵



頼高山「梅花八角花瓶」(1994)
頼高山藝術紀年館蔵
頼高山「梅花八角花瓶」(1994)
頼高山藝術紀念館 蔵



王清霜「菩薩」(1998)
個人蔵
王清霜「菩薩」(1998)
私人收藏



佐々竹徳「狹貫彫 手篲 瑞雲鳴鳳之図」(1951)
高松市美術館蔵 写真：高橋章
佐々竹徳「狹貫雕 手篲 瑞雲鳴鳳之圖」(1951)
高松市美術館 蔵 照片：高橋章

関連行事 | 相關活動

記念シンポジウム

- 日時：11月10日(土) 9:30~12:10
- 場所：香川県文化会館3階 芸能ホール
- 第1部
基調講演
「台湾こそ漆の聖地 山中公が望んだこと」
講師：三田村有純氏(東京藝術大学名誉教授)
「台湾の現代漆芸は世界に新たに発信する」
講師：黄金梅氏(国立台湾工藝研究發展センター漆工芸責任者)
- 第2部
パネルディスカッション「台湾と香川 共に手を携え世界へ」
コーディネーター：三田村有純氏(東京藝術大学名誉教授)
パネラー：頼作明氏(台湾漆芸作家)
王賢民氏(台湾漆芸作家)
住谷晃一郎氏(香川県文化芸術局美術コーディネーター)
藪内江美氏(香川県漆芸研究所専門職員)
- 参加料：無料
- 定員：200人 ※事前の申し込み不要(先着順)

記念研討會

- 日期和時間：11月10日(六) 9:30~12:10
- 地方：香川県文化中心3F藝能堂
- 第一部分
主題演講
「台湾は山中公希望の漆之聖地」
講師：三田村有純(東京藝術大学名誉教授)
「臺灣當代漆藝邁向國際的新層次」
講師：黄金梅(国立台湾工藝研究發展中心漆工藝負責人)
- 第二部分
小組討論「台湾與香川攜手走向世界」
主持人：三田村有純(東京藝術大学名誉教授)
與談人：頼作明(台湾漆藝作家)
王賢民(台湾漆藝作家)
住谷晃一郎(香川県文化芸術局藝術總監)
藪内江美(香川県漆藝學院的專業職員)
- 報名費：免費
- 人數限制：200人 ※不需要事先申請(依到場先後順序)

■問合わせ先

〒760-8570 高松市番町四丁目1-10
香川県政策部文化芸術局文化振興課
TEL.087-832-3782 FAX.087-806-0238
E-mail:bunka@pref.kagawa.lg.jp

■交通案内(香川県文化会館)

JR高松駅から南へ1.5km
ことん瓦町駅から西へ1km
高松中央インターから車で約20分
高松中央港から「県庁通り 中央公園前」までリムジンバスで約35分

■駐車場

香川県番町地下駐車場(有料)
高松市立中央駐車場(有料)

■詢問窓口

〒760-8570高松市番町4丁目1-10
香川県政策部文化芸術局文化振興課
TEL.087-832-3782 FAX.087-806-0238
電子メール:bunka@pref.kagawa.lg.jp

■交通説明(香川県文化中心)

JR高松站以南1.5公里
琴電瓦町站以西1公里
距離高松中央交流道約20分鐘車程
乘坐接駁巴士從高松機場到「縣政府中央公園」約35分鐘

■停車場

香川県番町地下停車場(收費)
高松市立中央停車場(收費)